

ゆうき 「勇輝」のメッセージ

「先輩に学ぶ」体験事業



▲書道部による書道パフォーマンス

12月24日、山門高校体育館で、みやまアンビシャス連絡協議会による、「先輩に学ぶ」体験事業が行われました。水上市の全児童と市内の小学生らが訪れ、山門高校の生徒会や吹奏楽部、書道部の出し物に目を輝かせていました。そして、「夢を叶えるために勇気を持って挑戦し続けよう、輝ける場所を探しに行こう！」という先輩からのメッセージを受け取りました。

もしもの時に備える

災害用伝言ダイヤル171体験学習会



▲実際に電話を利用して体験

12月23日、下庄小学校で(公財)日本公衆電話会による「災害用伝言ダイヤル171」体験学習会が開催され、5年生の児童が参加しました。災害用伝言ダイヤルは、災害時など家庭電話や携帯電話がつかないときに、30秒の声のメッセージを登録することができ、自分の無事や居場所を伝えることができます。初めて公衆電話を使う児童もあり、電話の使い方や利用の仕方の説明を受けながら体験しました。

互いの文化に触れる

みやま市・越前町児童交流事業



1月17日から19日にかけて、みやま市内の小学5・6年生の児童15人が、幸若舞が縁で姉妹縁組をしている福井県越前町を訪問しました。みやま市と越前町は、毎年児童たちがお互いの市町を訪れ、自然や文化に触れ交流を深めており、昨年11月には越前町の児童たちがみやま市を訪れました。児童たちは、「越前がミュージアム」の見学や、太鼓体験、ユニホックなどを通じた交流を深め、楽しい時間を過ごしました。



ユニホック体験

暴力団根絶にむけて一致団結

みやま市・柳川市暴力団追放総決起大会



▲参加者全員でシュプレヒコール

1月18日、暴力団追放！地域決起会議(筑後地区)みやま市・柳川市暴力団追放総決起大会が柳川市民会館で開催され、両市の安全安心まちづくり推進協議会関係者や一般市民など約千人が参加しました。大会では、暴力団追放宣言の採択につづき、参加者全員で暴力団追放のシュプレヒコールを力強く行い、暴力団排除に向け決意を新たにしました。

ともに楽しみ絆を深める

「なかよしドッジビー大会」



▲競技に熱中する児童たち

12月25日、筑後広域公園体育館で、みやま放課後児童クラブの「なかよしドッジビー大会」が行われました。スポーツを通して絆を深めたり、公共施設でのマナーを守ることを目的に毎年実施されているもので、市内全10クラブから約360人が参加しました。クラブ対抗ではなく混合チームで競技を実施。違うクラブの児童同士も助け合い、交流を深めました。

無病息災・五穀豊穡・火災よけを祈願

白かぶり



▲水の入った臼を投げ飛ばす

1月12日、高田町江浦町一の丸・吉原地区に伝わる伝統行事「白かぶり」が行われました。この行事は江戸時代末期に始まったとされており、一度途絶えていたものを地域住民が復活させました。男衆が地区内に置いてある水の入った木の臼を豪快に投げ飛ばして無病息災・五穀豊穡・火災よけを祈願。沿道に集まった住民や見物客から大きな声援と拍手が送られました。

決意を胸に社会に貢献

成人式



新成人代表あいさつ

1月12日、まいピア高田で成人式が開催されました。式には約280人の新成人が参加。会場では着物やスーツなどの晴れやかな衣装に身を包んだ新成人の笑顔があふれ、恩師や同級生との再会を喜び合う姿が見られました。新成人を代表して、清水小出身の壇有里奈さんが「ふるさとのみやま市に誇りを持ち、さらなる活性化に貢献していきます」と決意を述べました。



成人式の様子

防災への決意新たに

みやま市消防出初式



▲飯江・竹海・岩田分団合同の小隊訓練

市消防出初式が1月11日、消防本部屋外訓練場で行われ、消防団や女性防火俱樂部などが参加しました。飯江・竹海・岩田分団合同の小隊訓練や、山川東部第一分団のポンプ車操法が展示され、その機敏な動きに会場から惜しみない拍手がおくられました。また、女性防火俱樂部による炊き出し訓練も行われ、来場者に防災鍋が振る舞われました。